

授業科目

高齢者看護学演習

担当教員名 宇田 優子	対象学年	1・2	対象学科	健康科学（看護学分野）
	開講時期	後期（1学年）・前期（2学年）	必修・選択	選択
	単位数	4	時間数	60

授業の概要

履修者の学習課題を基に、演習を展開します。演習の実践施設については、第1回目の講義時に検討します。

授業の目的

高齢者の健康レベルに応じて、高齢者とその家族に求められる保健医療福祉サービスにおける看護実践能力を高める。

学習目標

- 1.保健医療福祉における高齢者への看護実践を経験する。
- 2.保健医療福祉サービスの利用高齢者および家族への看護実践をレポートする。
- 3.高齢者および家族への看護介入に関して文献検討をする。
- 4.保健医療福祉における看護職の役割と今後の課題を提言する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	科目概要、履修者の学習課題のプレゼンテーション	講義・演習	宇田 優子
2	高齢者および家族への看護介入に関する文献検討	講義・演習	宇田 優子
3～5	保健医療福祉における高齢者看護実践の計画	演習	宇田 優子
6～24	保健医療福祉における高齢者看護の実践	演習	宇田 優子
25～28	保健医療福祉における高齢者看護実践結果のプレゼンテーション及び討議	発表・討議	宇田 優子
29～30	保健医療福祉における高齢者看護実践結果のまとめ	演習・講義	宇田 優子

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	適宜提示する					
その他の資料						

評価方法

課題レポート(90%)
授業への参加状況(10%)

履修上の留意点

- 1、高齢者看護学特論を履修していること(並行履修可)
- 2、学習課題を明確にして、主体的に受講すること

オフィスアワー・連絡先

k 5 0 5 研究室
メール等で事前に連絡してから来室して下さい
yuko-uda@nuhw.ac.jp